

大学生等による地域課題解決活動の支援（長門地域）

《油谷後畑地区》

1 実施主体

東後畑営農組合食育グループ

2 連携大学

山口県立大学企画デザイン研究室（11名）

3 支援活動の概要

若者の棚田地域や農業に対する関心を高める支援、観光面の拠点づくりに対する支援

◇ 平成25年度

- ① 棚田の視察、地元との意見交流、ミーティング(6/29)
- ② 若者に地域や農業への関心を高めるような新しい農業ファッションを農業スタイルコレクションとしてファッションショー形式で発表（10/13）
- ③ 宇津賀ふるさとまつりでは、このユニフォームを着用したカフェコーナーを設置（11/24）
- ④ 棚田カフェ計画「bio cafe」、自然栽培米のパッケージデザインの提案



農業ファッションショー

地元の方からは実際に商品化して欲しいとの声もあり。



棚田カフェ計画

ロゴマークは、棚田の地形、自然栽培米から、自然と調和したフィンランドデザインを参考に、お米の形をモチーフとした6つで長門市の地形を表している。
<bio café>のbioはオーガニック、有機的の意。

※関連ページ：[都市部等との交流支援及び県職員等支援](#)